

平成21年度の調査・研究テーマについて

(加納副委員長) 過去3年間の大都市行財政制度特別委員会で行われてきた議論、議題を参考資料3で当局、委員長のほうでまとめていただいたと思います。それから先ほど委員長から、昨年までと一新して、ことしの1年間の運営方法の変更について、参考資料1を添付していただきまして、運営方法の から の中の特に を見ますと、委員会として意見、提言を取りまとめていければということもあり、 も含めると、1年間である一定のテーマを決めて、それなりの方向性を出すことが、さきの運営委員会等で決められて、この1年間、新たな変更で進められていくとお聞きしました。

さらに、先ほど局のほうから大都市行財政制度特別委員会の資料として、横浜市の新たな大都市制度の検討について、さきの委員会でさまざま議論をしてきて、9ページの御説明では、2月に最終報告を特別委員会で受けて、さらに、意見募集をしながら5月の特別委員会でも報告されて、そして1年間かけて、横浜市の新たな大都市制度創設の基本的な考え方、素案から始まりまして、さまざま1年間取りまとめていくという御説明もありました。私の個人的な意見ですが、昨年1年間、前委員会で報告をし、議論し、またこの1年間で横浜市の大都市制度の新たな検討を進めて、それなりにまとめていきたいということまで既にこの委員会で発表されているということから、テーマとして、さきの委員会でやってきたことを、さらにこの1年間で積み上げていくというのも大きな選択肢の1つではないかと個人的には思っています。